

接続ガイド

2ドライブ搭載 外付ハードディスク
HDW-UTシリーズ

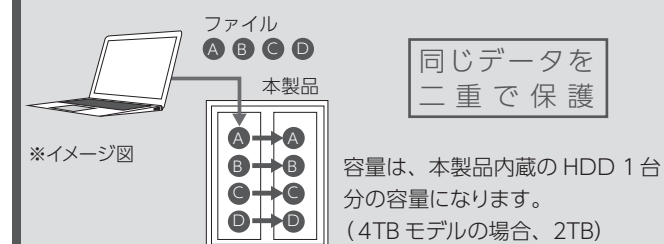
使用するモードを確認してください

本製品は、2台のHDDを搭載しており、次の3種類のモードで使用することができます。

以下のストライピングモード [RAID 0]、マルチディスクモードで使う場合は、本紙裏面の【本製品のモードを変更する場合】をご覧ください。

ミラーリングモード[RAID 1] (出荷時設定)

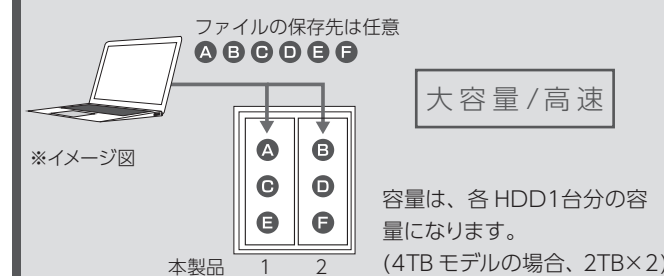
2台のHDDに同じデータを同時に書き込むため、一方のHDDが故障しても、データは安全に保護されます。



※ミラーリングにより、HDDの故障などの物理的なデータの破損やシステムダウンを防ぐことはできませんが、ウイルスの感染やユーザーの操作ミス、使用中の停電などのトラブルに起因するデータ損失を防ぐことはできません。

マルチディスクモード

2台のHDDを別個に認識させて使うことができます。



※冗長性はなくなりますが、1台故障した場合はそのHDDにあるデータのみが破損します。

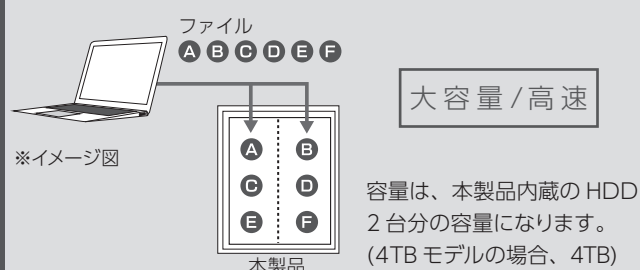
本製品の出荷時設定について

- ・ミラーリングモード [RAID 1]
- ・NTFS フォーマット

通常はそのまま使用することをおすすめします。

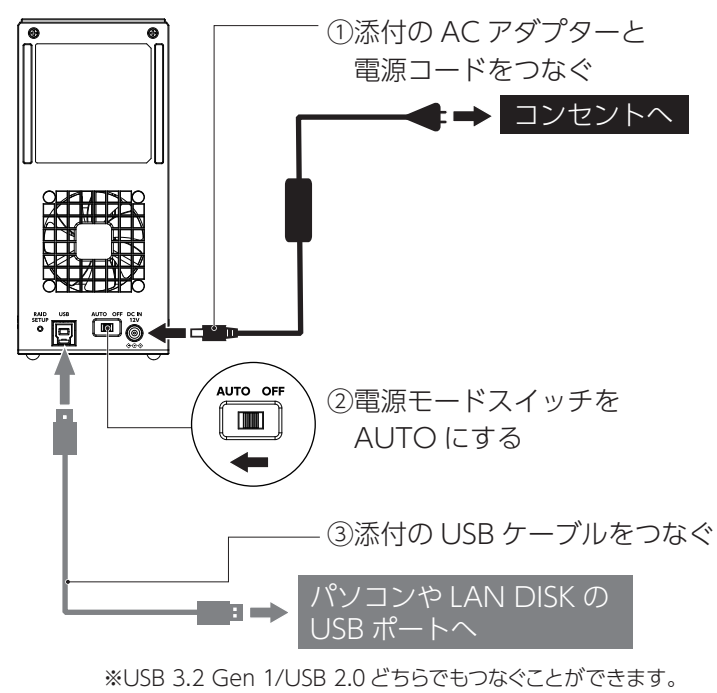
ストライピングモード[RAID 0]

2台のHDDを1台として認識するため、大容量HDDとして使う場合に最適です。また、2台のHDDに分散して書き込むためアクセス速度が向上します。



※冗長性はなくなりますが、1台故障した場合には、すべてのデータが破損します。

本製品をつなぐ



ご注意

コネクターの向きにご注意ください。接続できる向きが決まっています。接続しにくいときは、コネクターの向きをご確認ください。誤った向きで無理に接続すると、ケーブルや端子が破損する恐れがあります。

●パソコンでの使い方

本製品のフォーマット、取り外し方法などについては、下記 Web ガイドをご覧ください。



https://www.iodata.jp/lib/manual/mastering_manual/

アプリのご案内

以下の Web ページから必要なアプリをダウンロードしてください。
<https://www.iodata.jp/ssp/soft/>

●対応 LAN DISK での使い方

対応 LAN DISK の取扱説明書をご覧ください。

インストールする

本製品のモニタリングアプリ「DRIVE MONITOR」のインストール方法を説明しています。

※DRIVE MONITORは、Windows パソコン、Windows サーバー、LAN DISK Z シリーズのみ対応です。

DRIVE MONITORとは

ドライブ情報等のステータスが確認できるアプリです。故障時には、ポップアップで通知します。指定したメールアドレスにメールを送信するように設定することができます。ここではインストール方法を説明しています。使用方法については、【DRIVE MONITOR 画面で見るマニュアル】をご覧ください。

1 インストーラーをダウンロードする

ダウンロード方法

- ①弊社サポートライブラリで本製品の型番（箱や本製品に記載）で検索する
<https://www.iodata.jp/lib/>
- ②【ソフトウェアダウンロード】のお使いの OS をクリック
- ③【ダウンロード】をクリック

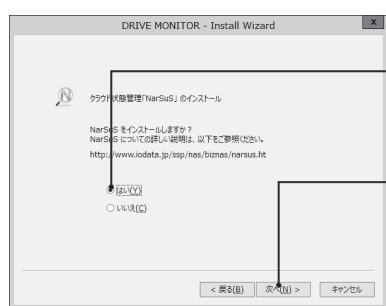
2 ダウンロードしたファイル内の [Setup.exe] を実行する

※「ユーザーアカウント制御」が表示された場合は、「はい」をクリックします。

3



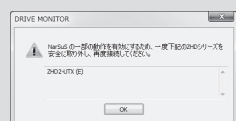
4



②【次へ】をクリック

本製品を取り外すメッセージが表示されたら

右のメッセージが表示されたら、本製品の取り外し操作（表面参照）を実行し、再度つないでください。



5 [完了] をクリック

※再起動を促すメッセージが表示されたら、再起動してください。

これでインストールは完了です。

NarSuSに登録する

NarSuS (ナーサス) とは

NarSuS は、24 時間 365 日、NAS や周辺機器を見守る安心サービスです。NAS や周辺機器にトラブルが発生したら、自動的に NarSuS データセンターに状態が送信されます。

NarSuS データセンターは、それを受けてユーザーにメールでトラブルをお知らせします。

画面に表示される対処方法にしたがって作業するとトラブル対策ができます。

詳しくは以下のサイトをご覧ください。

<https://www.iodata.jp/ssp/nas/biznas/narsus.htm>

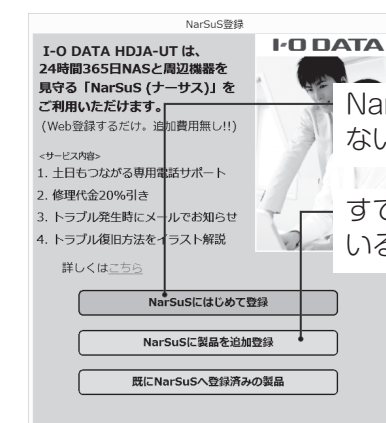


HDL-Zシリーズでお使いの場合

あらかじめ、接続する HDL-Z シリーズを NarSuS に登録してください。登録方法は【管理マニュアル】をご覧ください。

DRIVE MONITOR のインストール時に NarSuS をインストールし、本製品を USB 接続すると、以下の画面が表示されます。

1



すでに他の製品を登録している場合にクリック

2



【プロキシサーバー設定】

インターネット接続にプロキシサーバーの設定が必要な場合は、ご利用のネットワーク管理者に設定等をご確認ください。

インターネットに接続できない場合

裏面の【インターネットに接続できない場合】をご覧ください。

3 画面の指示にしたがって、必要事項を入力し登録する

4 登録が完了したら、Web ブラウザーを閉じる

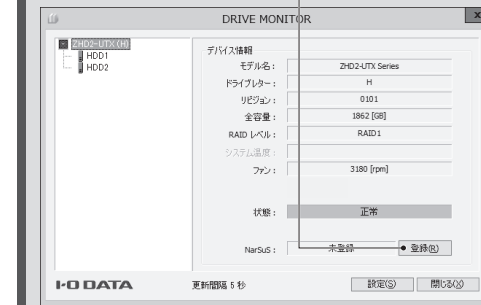
登録通知メールが送付されますので、保管しておいてください。以上で NarSuS 登録は完了です。

ご注意

- 登録に失敗した場合、以下をご確認ください。
- ・NarSuSをインストールした機器がインターネットに接続可能な環境に設置されていること (LANケーブルが正しく接続されていること)。
- ・プロキシを介してインターネットへ接続する場合は、プロキシが正しく設定されていること。
- ・TCP/IPが手動設定の場合は、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバーが正しく設定されていること。
- ・お使いのWebブラウザのキャッシュ (Cookie) をクリアして再度お試しください。

上記画面が表示されない

- ①タスクトレイの DRIVE MONITOR アイコンをクリック
- ②【NarSuS】の【登録】をクリック



※それでも表示されない場合、本製品を再接続してください。

追加で登録する場合

NarSuSにログインして、【製品追加登録】から追加で登録してください。

NarSuSに登録する(つづき)

インターネットに接続できない場合

- 1 インターネットに接続できるパソコンから、次の URL にアクセスする
https://www.narsus.jp/das/user-reg

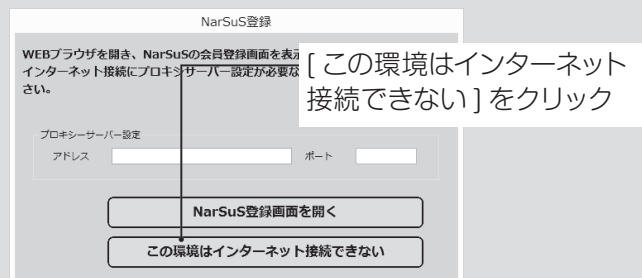
- 2 I-O DATA NarSuS
NarSuSに登録したことがない場合にクリック

すでに他の製品を登録している場合にクリック

- 3 画面の指示にしたがって、必要事項を入力し登録する

- 4 登録完了画面に表示された「ご利用コード」をメモする
※登録通知メールが送付されますので、保管しておいてください。

- 5 (本製品を接続した機器での操作)



- 6 NarSuSをご利用いただくには、インターネットに接続可能な環境である
①メモした [ご利用コード] を入力

②[設定する] をクリック

これで NarSuS 登録は完了です。

NarSuSのログイン方法

- 方法1 以下 URL にアクセスしてください。
<https://www.narsus.jp/>

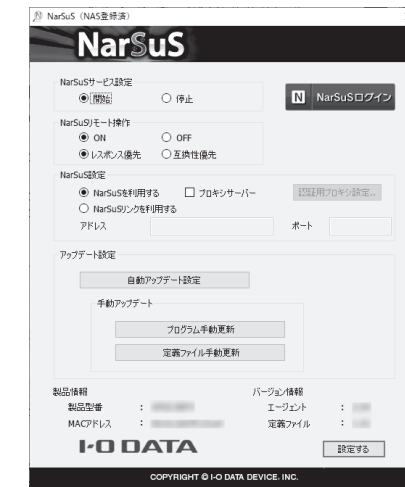


NarSuSの利用方法について

ヘルプをご確認ください。
NarSuSへログイン後、[NarSuSのヘルプ] をクリックしてください。

NarSuS設定画面

タスクトレイの NarSuS アイコン () をクリックすると表示されます。



NarSuS リモート設定	通常は [OFF] にしてご利用ください。 ※アイオー保守パートナー様向けの拡張機能です。本製品のファームウェアバージョンアップなど、定期的なメンテナンスをリモート操作で実施可能になります。
NarSuS 設定	プロキシの設定が必要な場合、[プロキシサーバー] にチェックをつけ、プロキシサーバーの [アドレス] と [ポート] を入力します。 ※設定内容は、ご利用のネットワーク管理者に確認してください。 ※[認証用プロキシ設定] をクリックすると、認証用の [ユーザー名] [パスワード] を設定できます。

アップデート設定	自動アップデート設定	NarSuS アプリや、NarSuS のイベント通知の定義ファイルが更新された場合の、自動アップデートについて設定します。自動アップデートする場合は、実行する曜日、時刻を設定できます。 ※出荷時は、自動アップデートは有効になっています。
	プログラム手動更新	クリックすると、NarSuS アプリを更新します。
	定義ファイル手動更新	クリックすると、NarSuS のイベント通知の定義ファイルを更新します。

本製品のモードを変更する場合

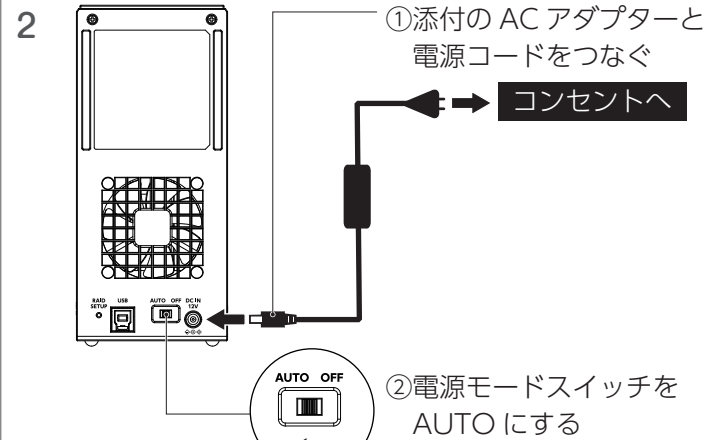
モードを変更する場合のご注意

- モードを変更するとデータは消去されます。本製品に必要なデータがある場合は、先に別の HDD などにデータをバックアップしてください。
- 使用するモードに設定したら、必ずフォーマットしてください。別のモードで使用していた本製品を、モード切り替え後、フォーマットせずにそのまま使用すると、故障の原因になります。

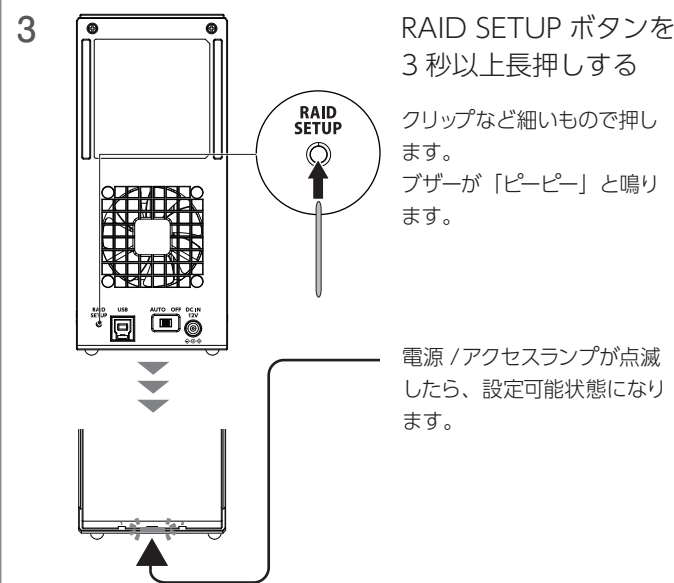
- 1 本製品を取り外す操作をおこなう

接続されているコード類もすべて取り外します。

- Windows で使用している場合、取り外し操作をおこなってください。
※必ずパソコンの電源を切る前におこなってください。
- LAN DISK で使用している場合、LAN DISK の取扱説明書をご確認の上、取り外してください。

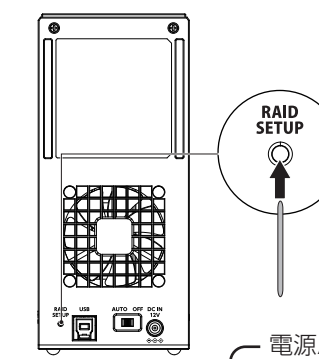


- モード変更時は、USB ケーブルを接続しないでください。



RAID SETUP ボタンを誤って押した場合
モード変更をキャンセルする場合は、そのまま電源モードスイッチを OFF にして終了してください。

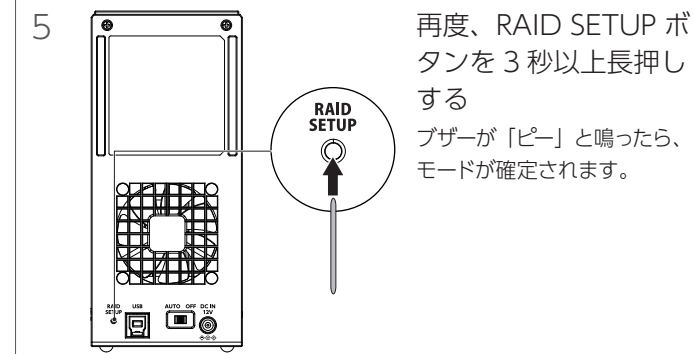
- 4 モードを選択する



RAID SETUP ボタンを押すごとに、ブザーが「ピッ」と鳴り、電源 / アクセスランプの色が変わります。

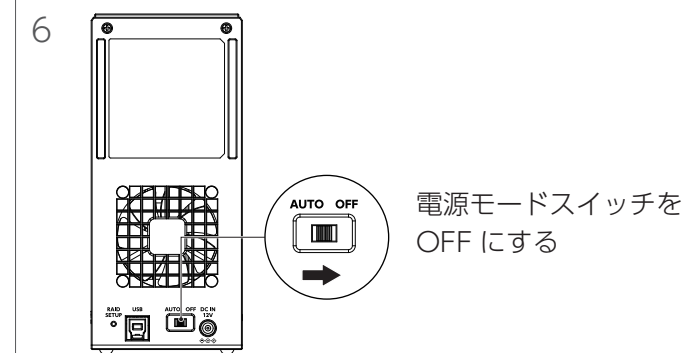
電源 / アクセスランプ

青色 ストライピングモード [RAID 0]
白色 ミラーリングモード [RAID 1]
緑色 マルチディスクモード



ブザーが鳴らない場合

すでにそのモードになっている可能性があります。同じモードへの変更はできません。そのまま電源モードスイッチを OFF にして終了してください。同じモードに設定し直す場合は、一度他のモードに確定してから、再変更してください。



- 7 本製品をつなぎ、フォーマットする

- Windows でフォーマットする場合、【Windows でフォーマットする】をご確認ください。
- LAN DISK でフォーマットする場合、LAN DISK の取扱説明書をご確認ください。

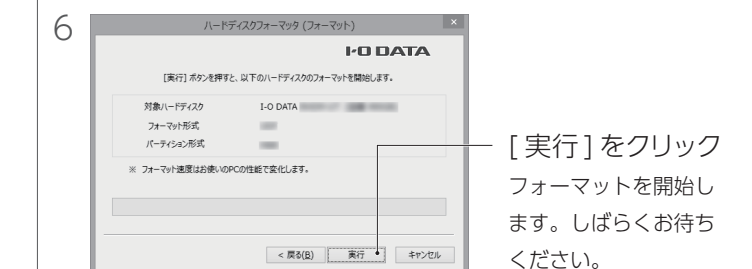
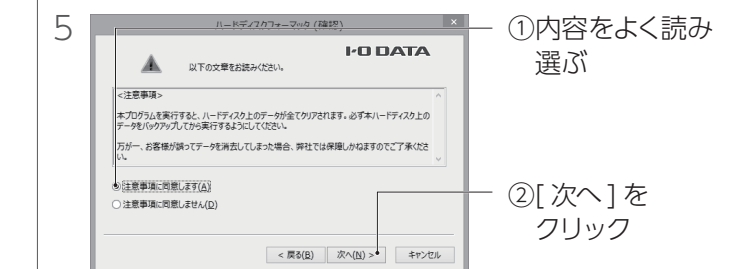
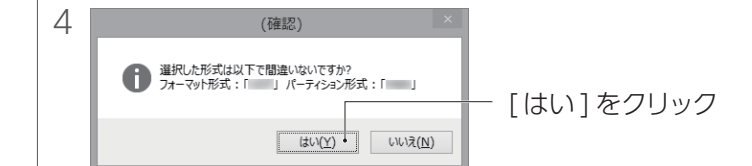
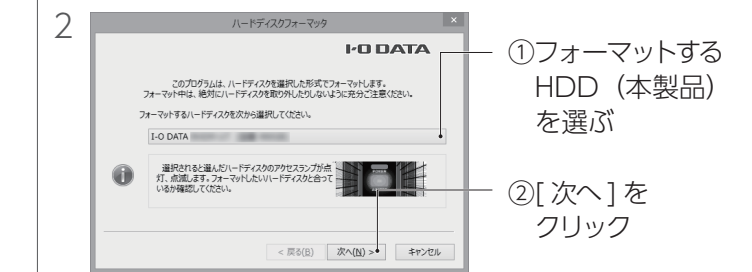
これでモードの変更は完了です。

Windowsでフォーマットする

Windows で本製品をフォーマットする場合は、【I-O DATA ハードディスクフォーマット】を使用します。

- 1 I-O DATA ハードディスクフォーマッタを起動する

I-O DATA ハードディスクフォーマッタのインストール方法
①以下のサポートライブラリにアクセスする
<https://www.iodata.jp/r/2107>
②お使いの OS のアイコンをクリックしダウンロードする
③ダウンロードしたファイルをダブルクリックしインストールする



7 [完了] をクリックし、いったん本製品を取り外す
これでフォーマットは完了です。